

活 動 内 容 報 告 書		
団 体 名		沖縄こどもの未来県民会議
直 近 3 か 月 活 動 報 告	通年	<u>食支援連携体制構築事業</u> 沖縄こどもの未来県民会議とおきなわこども未来ランチサポートが連携し、地域で食支援を行うこどもの居場所や十分に食事をとることが難しい家庭に対して、食品を安定的に供給する体制を整備することで、生活の安定と居場所の持続的な活動を支援する取組。通年実施。
		<u>こどもに寄り添う給付型奨学金</u> 児童養護施設や里親家庭等から大学・専門大学等に進学する生徒を対象に、入学金及び授業料、教材費等を給付する取組。
		<u>大学等進学サポート事業</u> 大学や専門学校等に進学を希望する低所得世帯の生徒を対象に、受験及び進学に係る渡航費用(上限あり)を助成する取組。今年度は上限額の引き上げ他、支援を拡大した。
活動風景の写真などを添付してください		
別添資料参照		
コメント		

1(1)こどもに寄り添う給付型奨学金事業 <H28~>



応募期間: 令和7年8月18日(月)から9月30日(火)まで

給付決定人数 15名

1 所属内訳

- (1) 児童養護施設 8名(5施設)
- (2) 里親 5名(5世帯)
- (3) ファミリーホーム 1名(1世帯)
- (4) その他(公的機関に準じる支援団体) 1名(1団体)

2 在籍高校内訳

- (1) 普通高校 11名(県立11名)
- (2) 専門高校 2名(工業1名 商工1名)
- (3) 通信制高校 1名(私立1名)
- (4) その他 1名(特別支援学校1名)

3 希望進路

- (1) 市立大学 1名(県外1名)
- (2) 私立大学 7名(県内2名 県外5名)
- (3) 専門学校 7名(県内3名 県外4名)

<支援実績>

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
受給決定者数	9	18	13	22	17	19	18	21	23	15	175
内 大学院・大											
内 学・短大	5	6	5	7	6	11	8	7	10	8	74
内 専門学校	4	12	8	15	11	8	10	14	13	7	101
総受給者数 (既存+新規)	9	26	36	39	40	20	24	54	54	60	362

・R2から、修学支援新制度が開始して、文科省による減免措置が開始された。

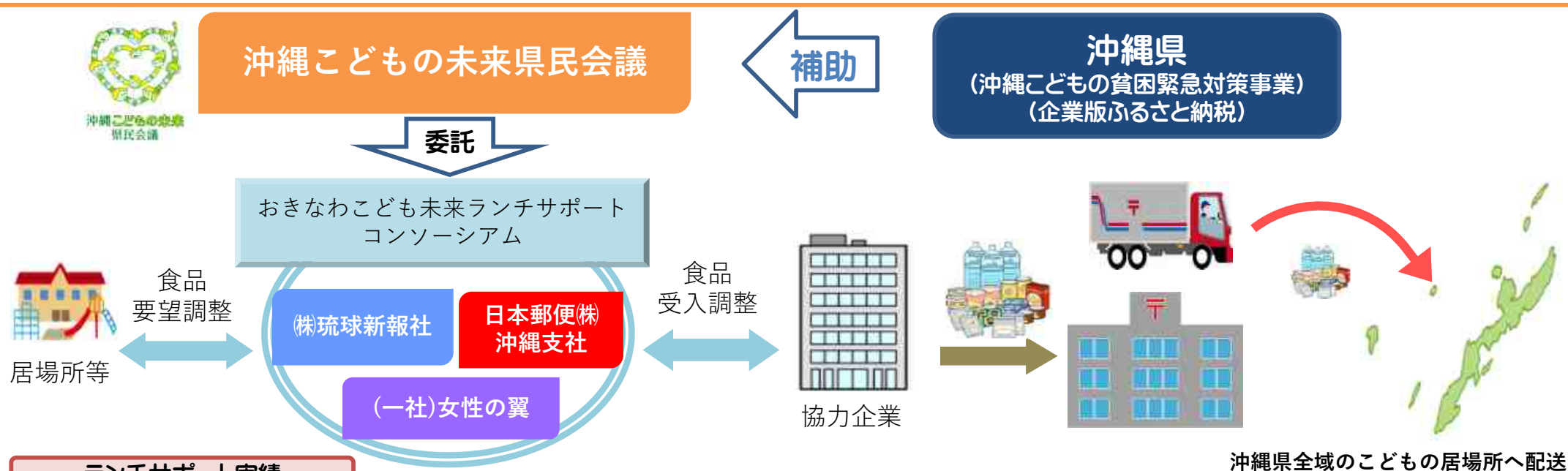
・現時点では、R8年度入学生の減免については決定されていない。

1(3)①おきなわこども未来ランチサポート <R2.10～>



<目的>

行政と企業が連携し、企業から提供を受けた食料品等を郵便の配送網を活用してこどもの居場所等に届けることにより、子どもや困窮家庭に対する食の支援と居場所の持続的な活動を支援する。



ランチサポート実績

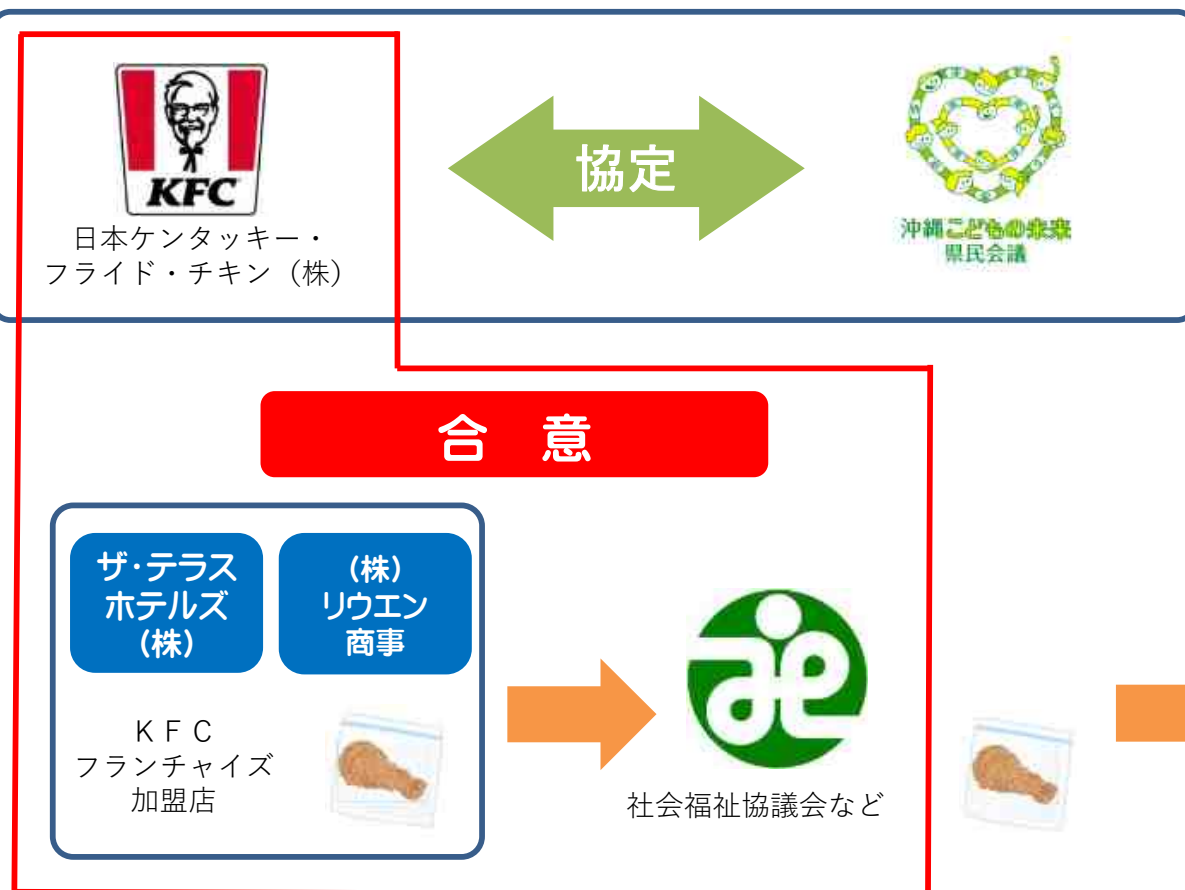
区分	R2 (R2.10.1～ R3.3.31)	R3	R4	R5	R6	R7	累計 (R2.10.1～)
寄贈企業数 (寄付金・食品等)	35社	58社	56社	70社	39社	36社	294社
受入食料品等数	176,117点	716,676点	307,110点	313,811点	199,067点	364,258点	2,077,039点
配布団体数(実数)	58団体	61団体	83団体	122団体	255団体	355団体	934団体
配布回数(延べ)	854回	1,923回	2,223回	2,258回	2,992回	4,353回	14,603回

1 (3)②こども食堂等への食品提供支援（概要）



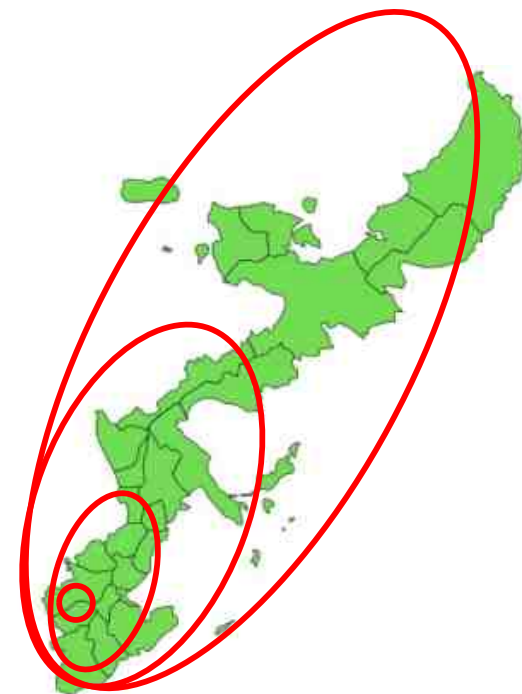
沖縄こどもの未来県民会議と日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社が連携協力し、県内のFC（フランチャイズ）加盟店より提供される食品をこども食堂等に提供することにより、こども食堂等の安定的かつ継続的な活動を推進するとともに、食品ロスの削減を図る。

連携体制及び提供の流れ



県内全域への展開（イメージ）

那覇市、沖縄市をモデルケースとして、段階的に県内全域へ拡大していく



令和8年3月時点：6自治体（那覇市、沖縄市、浦添市、糸満市、石垣市、与那原町）、10店舗で週1回程度、こどもの居場所へ食品を提供。

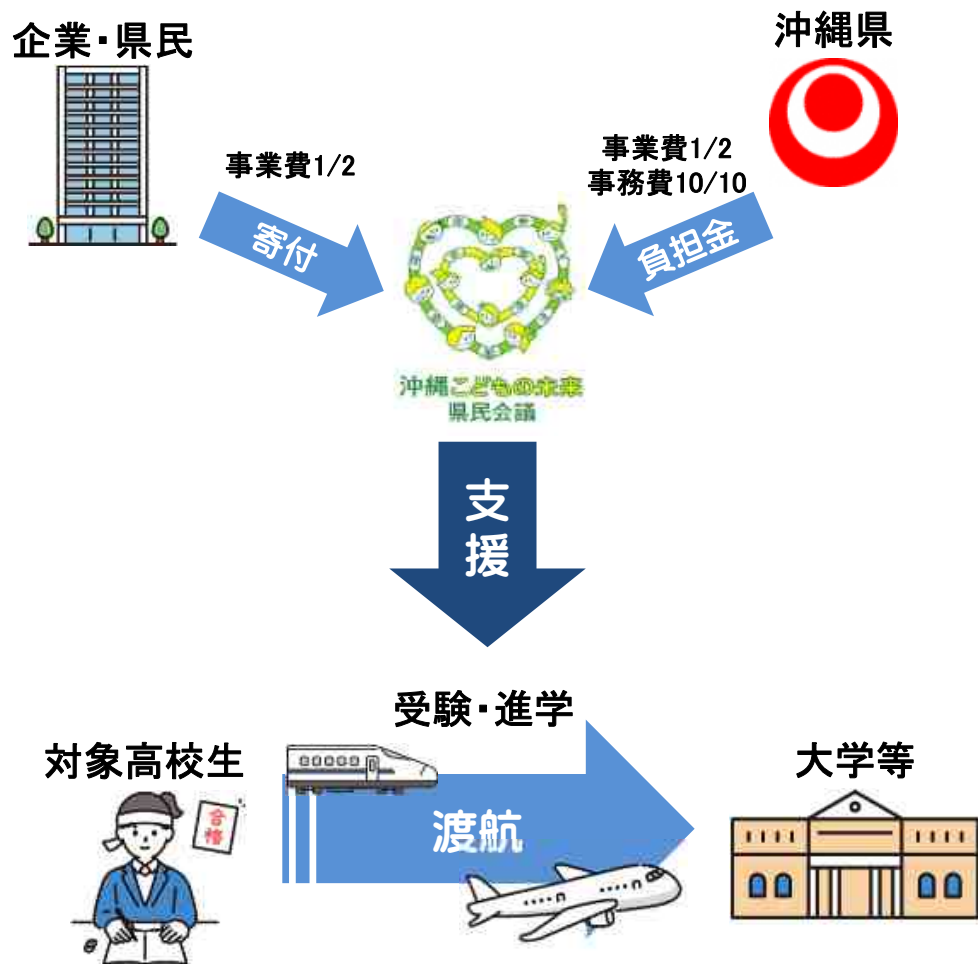
1(4)大学等進学サポート事業 (R4～)



【目的】

大学等に進学を希望する低所得世帯の高校生の経済的負担軽減と安心して学業に専念できる環境を確保するため、大学等の受験、進学又は合格後に進学先から出席要請を受けた行事への参加にかかる渡航費(交通費及び宿泊費)を支援する。

事業の仕組み(イメージ)



R7実績

事前周知: 令和7年7月上旬から

募集: 令和7年8月18日(月)から10月6日(月)まで

追加募集: 令和7年12月15日(月)から令和8年1月30日(金)まで

〈申請者数〉 363名

在籍高校

- | | |
|--------------------|------|
| (1) 県立高校(全日、定時、通信) | 325名 |
| (2) 専門高校 | 1名 |
| (3) 私立高校(全日、通信) | 35名 |
| (4) その他(高卒認定試験合格) | 2名 |

〈審査結果〉

決定者数 355名

非該当者数 8名

〈非該当理由〉

- | | |
|--------------------|----|
| ・住民税所得割課税対象 | 6名 |
| ・18歳に達した年度の者に該当しない | 2名 |

〈実績推移〉

	R4	R5	R6	R7
申請者数	147	213	282	363
決定者数	140	204	271	355
給付者数	130	173	217	277

2(2) SNS等による普及啓発活動

事業概要

公式ホームページ及びSNS（Facebook及びX）等を活用し、県民会議や県内での支援活動の取組等に関する情報発信を行った。「こどもミライ」サイトでは県や各市町村の支援情報のリンクを掲載。

令和7年度実施状況

寄付贈呈式、感謝の声等の発信を継続的に行い、県民運動の機運醸成を図った。また、ハッシュタグを活用し、効果的な発信に努める。

【HP】

- (1) 記事掲載 34件
(贈呈式26件、事業関連1件、イベント等7件)
- (2) 閲覧数 10,475件

【Facebook】

- (1) 記事掲載 40件
- (2) 閲覧数 6,145件

【X】

- (1) 記事掲載 39件
- (2) 閲覧数 4,114件



【メディア】

- (1) 県広報誌「美ら島おきなわ」11月号に感謝の声や、事業紹介などの特集ページを掲載。県内コンビニで配布した（16,200部発行）



「こどもミライ」サイト

- (1) 県や各市町村のこどもに関する支援情報のリンクを最新の情報へ更新した。また、周知・活用について市町村宛て依頼。

